

理研 CDB インターンシップに参加して

京都大学農学部応用生命科 2年 児島彬歩

(配属先：大脳皮質発生研究チーム)

実際の研究に少しでも触れたい、研究の場面に身を置きたいという思いからインターンシップに参加しました。花嶋研・大脳皮質発生研究チームにお邪魔させていただき、マウス脳切片の観察を行いました。時間の都合上自ら実験計画を立てる事は出来ませんでしたが、まだ見たことがないという進行中の研究のサンプルを渡していただきました。論文や教科書にあるようにどこをどの様に見たらいいかなど示されない生の試料に対して、何か変わった事・面白い現象を見つけようと必死に顕微鏡を覗き込む体験はとても楽しく心躍るものでした。その結果に対して考察を加え、発表会に向けて纏める過程は、考察する事自体が楽しく理解も深まるととても良い機会になりました。発表会では他のインターン生の鋭い質疑応答に我が身を振り返り反省させられました。

実験・研究体験では研究室の方々がとても丁寧に指導して下さいました。事前の準備を考えると身が竦むような実験操作中見ていて下さり、実験や研究内容について分からないことがあったらすぐ教えていただける環境は他に得難いものでした。最後の発表スライドについても初歩的な約束事や分かり易く纏めるアドバイスなどをご教授下さり今後の為になりました。(朝早くから夜遅くまでインターン生に付き合ってください感謝してもし切れません。)ラボ訪問など全体の企画も他の研究室の先生方とお話するととても良い機会だったと思います。先生方は親しみやすく熱意に溢れていてこの様な研究者になりたいと思わせるような方々でした。また、充実した設備や全体の雰囲気から、CDBは研究所としてとても魅力的な所だと強く思いました。

朝から晩まで生物学に没頭出来る幸せな五日間でした。今回感じた研究の楽しさ・自分の至らなさを今後に生かしたいと思います。インターンに関わって下さった先生方・スタッフの方々に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



研究発表会での児島彬歩さん (左)